

2010. 6. 16

哨戒艦沈没事件と朝鮮半島の政治状況

1) 統一地方選までの一連の動き

- 5. 20 合同調査団調査発表
- 5. 24 李明博大統領談話、攻撃受けければ即刻自衛権発動
- 5. 25 祖国平和統一委員会、韓国との関係断絶発表
- 5. 26 クリントン国務長官訪韓、李明博大統領らと会談、韓国支持を表明
- 5. 26 南北将官級軍事会談北側代表、韓国の軍事宣伝放送が再開されれば韓国側人員遮断を警告する通知文、事実上開城工業団地閉鎖も示唆
- 5. 26 ロシア大統領府、韓国に調査団派遣決定
- 5. 27 朝鮮人民軍総参謀部「重大通告文」で南北間紛争防止合意無効化などを発表
- 5. 28 国防委員会、記者会見で哨戒艦事件関与を否定
- 5. 28 日本政府、追加制裁決定
- 5. 28 中韓首脳会談、温家宝「客観的で公正に判断」
- 5. 29 日中韓首脳会談
- 5. 30 平壤で哨戒艦問題糾弾 10万人集会
- 5. 31 韓国の千英宇外務次官、国連への哨戒艦問題提起で訪米
- 5. 31 日中首脳会談、鳩山首相が温首相に制裁強化へ協力要請
- 6. 2 韓国統一地方選挙、ハンナラ党敗北
- 6. 3 朝鮮中央通信、李濟剛党第一副部長（80）が交通事故死と報道
- 6. 3 ロシア海軍、朝鮮半島有事想定した訓練を6月下旬に
- 6. 4 ゲーツ国防長官と金泰榮国防長官会談、上旬の米韓合同軍事演習延期
- 6. 4 李明博大統領、国連安保理への哨戒艦事件提起を明らかに
- 6. 4 朝鮮日報、作戦計画 5027 の北朝鮮への流出を報道
- 6. 5 李明博大統領、シンガポールで演説、朝鮮半島で全面戦は絶対にない
- 6. 6 連合ニュース、鴨緑江で北警備隊が中国人銃撃、2名死亡と報道
 - 6. 8 秦剛副報道局長、3名死亡、1名負傷に抗議を確認
 - 6. 10 新華社、北朝鮮が銃撃責任者処罰と報道
 - 6. 11 梁光烈国防相、解決を明言
- 6. 7 国連安保理、哨戒艦事件で非公式会合開始
- 6. 7 最高人民会議開催、張成沢が国防委員会副委員長に、内閣一部交代
- 6. 8 環球時報、米航空母艦の演習参加自制促す
- 6. 8 インターファックス、哨戒艦事件は北朝鮮と断定できないとロシア専門家チームが結論付けたと報道
- 6. 9 セルジュコフ国防相、調査結果公式発表までは1ヵ月
- 6. 10 韓国監査院、軍の虚偽報告で軍・国防部幹部処分を勧告
- 6. 10 菅直人首相、李明博大統領と初の電話会談
- 6. 12 朝鮮人民軍総参謀部軍事的対応を警告

2) 統一地方選挙と哨戒艦事件

* 哨戒艦事件の真相をめぐる諸見解

北魚雷説（合同調査団発表）

座礁説

誤攻撃説

機雷説

米原子力潜水艦関連説

* 韓国政府の統一地方選対応と北風

5. 20 調査発表と一連の大統領の対北朝鮮強硬発言

計算された北の脅威強調と国防への無知

国防部「大統領は国防政策の報告を聞かない」

ノ・ムヒヨン政権の沿岸防衛に忠実な海・空軍強化の「国防改革 2020」

を廃棄、09. 6 に従来型兵器強化の「国防改革基本計画」へ

李明博政権ではむしろ軍事がなく経済の都合に左右

* 北朝鮮の判断

10. 5 金正日訪中

2009年南との交渉不調、中国重視へシフト

核廃棄の代わりに四者会談実現に向け対米交渉をまかせる

四者・六者不調なら再度核実験、ミサイルも

* 米国の態度の変化

事件当初は北朝鮮説とらず

特に 5. 20 以降、韓国政府に同調

オバマ政権内部の交渉派の後退

韓国政府支持でも失うものが特になく（朝鮮半島の優先順位低い）